

1 埼玉県認知症施策推進計画の概要

◆認知症の人やその家族のための初めての計画

1 計画策定の趣旨

埼玉県では認知症の人の数が令和7年に40万人（高齢者の5人に1人）に達する。また、高齢者の単独世帯や夫婦のみの世帯も増えている。こうした状況において、認知症の人やその家族に対する切れ目のない支援を推進するために初めて認知症の計画を策定した。

2 計画の基本理念

認知症の人が尊厳と希望を持って地域でともに生きる社会の実現

3 計画の位置付け

認知症施策推進大綱を踏まえ、本県の実情に即した計画
「介護保険事業支援計画」の認知症施策の部分を含めた計画

2 計画の主な内容(高齢者支援計画第3章第3節に位置付け)

主な柱立て

1. 認知症施策の総合的な推進

(1) 普及啓発・本人発信支援・予防

(2) 医療・ケア・介護サービスへの支援

(3) 若年性認知症等の人への支援

(4) 認知症バリアフリーの推進・社会参加支援

主な取組と数値目標

- 認知症サポーターやキャラバン・メイトの養成
- アルツハイマーデーなどにおける普及啓発
- 断 埼玉県版「希望大使」の設置
- 「本人ミーティング」などのピアサポート活動の推進

数値目標「本人ミーティング」開催市町村数: 12市町村(令和2年度末)→全市町村(令和5年度末)

- 認知症疾患医療センターの運営強化など、早期の認知症に対する診断・治療体制の推進
- 認知症サポート医の養成推進とかかりつけ医、歯科医師などを対象とした認知症対応力向上

- 若年性認知症支援コーディネーターによる支援の推進
- 若年性認知症の人の就労継続支援
- 断 若年性認知症の活動の場の拡大等

数値目標「若年性認知症のカフェ」6か所(令和2年度末)→10か所(令和5年度末)

- 断 「チームオレンジ」(認知症の人やその家族のニーズと認知症サポーター等を中心とした支援をつなぐ仕組み)が各市町村で整備されるよう支援

数値目標「チームオレンジ」整備市町村数: 0市町村(令和2年度末)→32市町村(令和5年度末)

2. 権利擁護の推進

- 成年後見制度利用促進のための市町村計画の策定及び市町村中核機関の設置を促進

3. 虐待防止の推進

- 高齢者虐待防止の取組、啓発活動、通報・相談の環境整備、市町村の体制整備支援など

